

大田原いろどり講座開催!!

「いろどり」という言葉の中に「男女の性差ではなく、人としての多様性を大事にしたい」という願いが込められています。26年度の講座は「地域と向き合う一歩」をテーマとして、今後の地域づくりに役立てられるような内容です。

第1回 ワークライフバランスについて

講師：栃木県那須教育事務所 所長補佐 兼 ふれあい学習課長 小滝 威氏



6月26日(木)ワークショップ「ワークライフバランスについて」が行われた。

ワークショップは、いくつかのワークを体験しつつ、テーマについて考えるきっかけづくりになると話された。

ワークライフバランスとは「仕事と生活の調和」であり、「人生の各段階におけるさまざまな生活についてバランスをとりながら実現すること」と定義付けられた。

アイスブレイクによって和やかになった会場で、テーマに沿ってYES・NOゲーム・グループトーク・ラベルトーク・発表が展開された。

まとめとして、これからの生き方のスタイルは、仕事・家庭・地域・生活・休養・自己啓発を含むワークライフバランスでありたいということだった。

第2回 シニアの地域デビュー ～わたしの魅力が輝くとき～

講師：とちぎ協働デザインリーグ 主任研究員 小針 協子氏



7月24日(木)、「シニアの地域デビュー」と題してワークショップが行われ、小針協子さんから宇都宮市で行われた社会貢献活動事例が紹介され、地域デビューは自分の魅力を輝かせ自らにも喜びをもたらす意義があると学んだ。

その後、自分の魅力を輝かせる項目として意識・体験・行動の三つがあり、グループメンバー同士で、他己紹介やこれまでやってきた地域活動を話し合い、まとめて発表を行った。最後に各自これからやってみたいことを決意発表して、講座を終了した。

参加された人たちが、すでに色々な地域活動を実践されていることがわかり、学びの多い講座であった。

第3回 子どもたちと共に！ ～児童支援とは～

講師：大田原市民生委員児童委員協議会連合会 主任児童委員部会



8月26日(火)、子どもたちと共に！～児童支援とは～と題し、大田原市主任児童委員部会の皆さんが日頃の活動の中で、今の子どもたちが置かれている現状を、4つの寸劇で紹介した。【その1】育児放棄；家族、経済環境の変化で身近な所で起きている。一寸した気づき、おせっかいが子どもを救う。【その2】家庭訪問；保護者の無理解が、家庭教育の把握を困難にしている。【その3】保護者の話題；その悪口が、子どもの勉強意欲を削いでいる。【その4】弁当；食は人の下に良と書く。弁当は子どもへの愛情表現。笑いと、涙の寸劇であつと云う間に時間が過ぎた。最後に、受講生と貴重な意見交換が行われた。

第4回 男女共同参画の視点で取組む防災

講師：とちぎ男女共同参画財団 啓発支援課長 滝田 みどり氏



9月18日(木)、「男女共同参画で取組む防災」の講座が開かれ、滝田みどりさんからパーティとちぎ男女共同参画センターで編集された「防災ハンドブック」を資料として、なぜ防災に男女共同参画が必要かのお話をうかがった。

災害が発生した時、高齢者・障がい者や乳幼児などの援護を必要としている人たちをお世話する役割を担うのは女性が多い。災害発生3日後の生活を考えて見ると、女性の働き(ケア)はとても大きい。実際に避難所が必要になった場合には、必ず女性を交えた運営が必要であることが理解できた。

3.11の後も、つい最近の広島大水害や二日前の震度5の地震など、災害が増加していると感じる昨今、タイミングの良い講座であった。

シリーズ 輝

国際医療福祉大学社会福祉研究部

あじさい

「あじさい」は国際医療福祉大学で一番初めに活動を開始したグループで、ボランティアに参加したり、部員によるイベント行事を企画したりするなど、地域のグループや施設を訪問・交流する活動をしている。

「ひよこクラブ」に
「あじさい」の
企画力を見た

6月21日、福祉大学アスリーナで「あじさい」と、発達障がいを持つ子どもたちの親の会「ひよこの会」と合同で開催する「春の共同企画・ひよこクラブ」が行なわれた。

創作劇『夢〜Never give up〜』：甘いものが大好きな「ありきち」は無事ケーキ屋さんになれるか?…には、子どもたちも参加して大騒ぎ。その後、「忍たま乱太郎」を合唱しながらのダンスでは、車椅子の子どもたちも大喜びで踊っている。ハイテンションで駆けずり回る子どもたちや、車椅子でゲームやダンスを楽しんでいる子どもたちを、大勢のお兄さん・お姉さんがやさしく手助けしている。最後に全員で記念撮影をして、「おわりのごあいさつ」となった。手作り感がいっぱいなの企画で、楽しいひと時であった。



一期生数名で
立ち上げた活動は、
あじ卒で受け継がれる

「あじさい」は、まだ一期生しかいない1995年に数名の部員で設立されたボランティアグループである。

当初はなかなか地域の人々に受け入れられず、活動は模索状態であった。部室も無く、市ボランティア連絡協議会会長より敷地内にある空き家を提供されて活動拠点とした。二期生・三期生の時代に、特に那須塩原市の「太陽の里」職員から良い指導を受けて活動の基礎が築かれ、「ひよこの会」「太陽」「ぶらねつ」となど地域の人々とのふれあいを通じて成長してきた。

一年生、二年生が活動の中心となっているが、あじ卒といわれる「あじさい卒業式」に四年生が参加し、志が受け継がれている。

現在の所属メンバーは217名である。ボランティア相手の人数に合わせて「あじさい」側の参加人数を調整しており、「ひよこクラブ」当日は、子ども25名に対し「あじさい」メンバー50名がサポートしていた。

活動ごとの振り返り・
企画力・手抜きのない活動
無い活動

「あじさい」のお兄さん・お姉さんを目にするのは、福祉ふれあい祭り(文化会館)や、ふれあいこども祭り(ふれあいの丘)など大きな行事の時が多いが、団体との共同企画行事の開催や託児、障がい者施設への訪問・交流、特別支援学校や小学校の運動会などの行事補助、老人ホームの遠足支援、その他福祉大学ボランティアセンターを通じた依頼対応など幅広い活動を行っている。

ボランティア活動終了のついで、一人ひとりが反省点用紙に書き、部員同士で共有して次の活動につないでいる。「ひよこクラブ」を見たように、毎回工夫された企画が考案されており、充分な練習を行って手抜きの無い演出で楽しんでもらって、「ひよこの会」や「太陽」の親御さんたちから強い信頼を得ている。

紫陽花は色が異なる花が咲く。「あじさい」は、メンバーの素質を生かしながら地域の人々と色合いを合わせ、成長を続けている。来年は設立20周年である。



連絡先：0287-24-3719

大田原市民の研修事業 (パーティ男女共同参画セミナー公開講座に参加)

〈日時〉8月21日(木) 午後1時30分から3時30分 〈講師〉橘・フクシマ・咲江氏

宇都宮大学にて、「競争力強化のためのダイバーシティ～女性の力を企業の力に!～」と題して講演が行われた。

講師の橘・フクシマ・咲江氏はコーン・フェリー・インターナショナル日本法人社長。2008年ビジネスウイーク誌に「世界で最も影響力のあるヘッドハンター・トップ100人」に唯一の日本人として選ばれた。

◎グローバル人材に必要な要件(プロフェッショナルなスキルを)

- ・できない理由を考える前に「どうやるか」前向きに考え自分の能力を自己肯定し向上の方法を意識する。
- ・上司の目から自分を見つめる。「作業」でなく「仕事」をする。上司なら「自分が社長だったらどうするか」シミュレーションする。
- ・思考の柔軟性が大切、多様性対応能力危機管理等、想定外のトレーニングをする。

◎リーダーになる心構えでは

- ・人と競争するより昨日の自分と競争する。どんな機会も有効に活用する。
- ・自分のした事、失敗は人のせいにならない。自分の人生は自分で責任を持つ。
- ・成功の人生キャリアは自分で作る。「自律と自立」2つのジリツ。
- ・can-do「危機」はチャンス、無駄な経験はひとつもない。
- ・マニュアルに頼らず、すべての決め付けを排除する。

◎多様性への対応能力を育成するためには

- ・女性人材の育成をしないと日本の競争力は低下する。
- ・外柔内剛、自分の信念は譲らず、外には相手の個性や価値観、国情などに柔軟に対応する。
- ・インテリジェン(誠実)に、自分を他の人の立場に置くシミュレーション(疑似体験)をしておく。



フクシマ氏はソフトで上品な口調で、用件をコンパクトにまとめて話された。性差で扱いの違いや理不尽さを感じても、それを結果をだすことによってサプライズを起こすこと。そのサプライズが、企業の古い考え方を変えていく糸口となること。何より重要なのは、グローバルな視点でものを見ること。世界に視野を広げて、その中で自分の立ち位置を考えること。日常における対人関係の考え方にも通じることだと学んだ。

ひとりひとりが幸せな社会のために ～仕事と生活の調和(ワークライフバランス)～

仕事・労働は、充実した生活人生を送るための糧でもあるが、過労死、精神疾患、家庭崩壊に至ったりして、ワークライフバランスが叫ばれるようになった。男性の家事、育児参加を「カジメン」、「イクメン」として耳にする事も多くなったが、高齢化率が高くなるに従い家族の介護や看護を理由とした離職・転職者数は、昨年1年間に10万人を超えた。介護保険制度や大田原市における高齢者介護を支える仕組みについての知識・情報を得て、「一人ひとりが夢や希望を実現できる豊かな人生」を考えてみましょう。

ばらんす掲示板

平成26年度大田原市男女共同参画推進事業者表彰

市では、積極的に男女共同参画推進に取り組んでいる事業者を募集し、表彰いたします。

募集期間 平成26年11月4日(火)から11月28日(金)

※対象や応募方法等の詳細については、広報11月号に掲載しております。

市民力 アップ講演会

期日 平成27年1月24日(土)13:00～14:50 会場 那須野が原ハーモニーホール

内容 ①大田原市男女共同参画推進事業者表彰

②市民力アップ講演会 講師:教育評論家 尾木 直樹氏

テーマ:ありのままに今を輝く ～グローバル化時代の生き方論～

※詳細については、広報12月号に掲載を予定しております。

■申込み・お問合わせ先:政策推進課市民協働係 ☎23-8715



尾木 直樹氏

編集後記

新たに編集委員として紙面作りに参加しました。

取材でいろいろな方々のお話を伺い、視野が広がったような気がします。(岩元)

編集委員

岩元 利孝
栗原 敏子
谷辺 範夫
藤沼 久子

(五十音順)